



④発信する ③追究する ②粘り強く ①つながる ⑥思いや願いを実現しようとする ⑦課題解決する

## 感謝の気持ちをもちながら、新たな1ページへ

校長 許斐 真也

11月は本校「創立60周年記念月間」と位置づけ、様々な取組を行いました。初音っこスポーツウエーブ、児童会発案による60周年ラリー、本校卒業生である鬼武みゆきさんによるコンサート、そして26日には制限がある中でしたが創立60周年記念式典を無事行うことができました。また、これらに先立ち、児童と保護者の方々とで初音花いっぱい活動も行いました。これらの取組の中で、おそらく昔も今も変わらない初音っこのよさや地域など様々な人とのつながりの大切さを再認識することができました。実施にあたりまして、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力を賜り、改めて感謝申し上げます。

創立60周年を数える本校からは、これまで8000人以上の卒業生が巣立ちました。保護者の中にも本校卒業生が何人もいらっしゃいます。地域にももちろん沢山いらっしゃり、学校と子どもたちのことを気にかけてくださっています。先月号の学校便りをご覧になったある町内会長さん（この方は創立前年の分校時代の卒業生だったそうです）からお電話をいただきましたが、「地域から学校を応援しているよ」と本当に嬉しいお言葉をいただきました。このようなあたたかな思いを大切に、よりよい学校にしていこうと、式典の中で話しました。

60周年ラリーでは、初音っこの素直さや人懐っこさ、優しさが現れていました。きょうだい学年のグループで子どもが作ったクイズなどのブースを回る活動でしたが、上学年の子が下学年の子をリードし楽しく取り組んでいました。手をつないだり、優しい言葉をかけたりするなどほほえましい場面を沢山見かけました。日頃授業参観をしていますが、学年を問わず、男女の別なく仲良くグループ学習がすぐにできることも初音っこのよさです。また、ラリーの実施について代表委員会で検討した際には、全校児童が楽しく過ごすことができるようにと活発に意見を述べていましたが、それもよさの一つです。

校歌「鳳凰のはばたき」は創立から9年後の昭和47年に作られました。作詞は2代校長小林 馨 先生によるものですが、3番まである歌詞には、初音っこに対するあふれる思いが綴られています。1番では自然豊かな環境の中で美しい心を育てていく姿を、2番では健康でたくましく未来を切り開いていく姿を、そして3番では粘り強く努力し広く活躍する姿を願うものにとらえています。この願いは昔も今も変わらないと思います。

子どもたちが充実した学校生活を過ごしながら、人生の基礎をしっかりと、そして真っすぐに築いていってほしいと思います。保護者・地域の皆様には、これからも子どもたちの頑張りを温かく見守ってくださるよう、お願い申し上げます。

前述「花いっぱい活動」の一環として栽培委員会の児童が植えた花文字です。ノースポールで「60」の数字を表しています。学校図書館前の花壇に植えてあるので、お越しになった際にご覧ください。

